

令和7年度 浦安市立富岡中学校 第4回 学校地域連携運営協議会

日時 令和8年2月13日（金）19時00分～21時00分

場所 富岡中学校図書室

出席者 委員7名（欠席者4名）

関係者1名（教務主任）

次第 1 会長挨拶

2 校長挨拶

3 第3回協議内容の確認

4 協議

(1) 令和7年度学校評価について

(2) 令和7年度の富岡中学校の取組

(3) 令和8年度の富岡中学校の新しい取組と課題

(4) 令和8年度学校経営方針（案）について

(5) その他

5 その他

1 会長挨拶

- 協議会も2年目の最後となったが、前回意見書を出すことができてよかった。
- 学校評価の結果には気になる数値があるので、ディスカッションできるとよい。

2 校長挨拶

- 私立高校の入試が終わり、いよいよ来週に公立高校の入試がある。
- 志願倍率が出たが、私立志向の影響があると思われる。
- 1月下旬にインフルエンザが蔓延して閉鎖を行ったが、翌週には回復した。
- 「学校だより」で挨拶のマナーについて記載した。
- 翌日からポケットに手を入れたまま挨拶をする生徒がほとんどいなくなった。
- 部活動の下校時間についても部長会議で話をしたら、どの部も時間を守るようになった。
- 園小中の連携活動に力を入れている。
 - ・富岡幼稚園と東野保育園に2学年家庭科の保育実習を受け入れていただいた。
 - ・作品交流、吹奏楽部の小学校支援や合同演奏、小中の特別支援学級の合同体育など。

3 第3回協議内容の確認

- 代表生徒の意見に助言いただいた……挨拶運動、黙働清掃、富中フェスティバルなど

4 協議

(1) 令和7年度学校評価について

- 今年度から7月と12月の2回実施している
- 7月と12月の比較と、前年度との比較を行った。

●委員から

①「清掃」について

- ・職員の評価が下降していることが心配である。
- ・職員から、なぜ評価が低かったのか、どこに真意があるか確認するとよい。
- ・「黙導清掃」としての評価ならもっと指導が必要だと思う。
- ・(学校から) 一方で「安全・安心な生活環境の整備」は3者とも評価が高い。
- ・(学校から)「黙導」という言葉には生徒の間にも職員の間にも賛否があるようだ。

②「家庭学習」について

- ・3者とも評価が低い、家庭学習の定義を明確する必要がある。
- ・クラス単位で集計してみれば特徴がわかると思う。

③全体について

- ・全25項目のうち、特に学校が重点を置いている項目を示すとよい。

(2) 令和7年度の富岡中学校の取組

●校長より

①学習について

- ・生徒は意欲的に学習に取り組み、授業中の態度や表情もよい。
- ・「個別最適・協働的な学び」の研究の成果を公開授業研究会で発表した。
(国語・社会・数学・理科・英語・道徳を1名ずつが授業を展開)
- ・県と市の教育委員会による合同訪問では、全職員が授業を展開した。
- ・どちらの研究授業も、生徒の活動も高い評価をいただいた。
- ・研究指定は今年度で終了するが、研究は今後も継続していく。

②学校生活について

- ・全職員がシフトを組んで、見回り・見守りを実践している。
- ・教室が整理整頓されており、移動教室等で生徒が不在の時もきれいである。

③人材育成について

- ・授業や生徒指導に係るチェックリストを作成し、アンケートもとった。
- ・教務主任が中心となって、若年層教員からの要望に応える形で研修会を行っている。

④学校行事について

- ・生徒会主催学校行事は前例踏襲に捉われずに工夫を重ね、大いに盛り上がった。
- ・合唱コンクールではどの学級も団結し、達成感や充実感を味わった。

⑤学区園小中連携について

- ・合唱コンクール中間発表会で、小学校6年生と園の年長組に歌声を披露した。
- ・子どもたちの絵画などの作品を写真に撮り、各園小中で展示し合った。
- ・今年度始めた富岡幼稚園と東野保育園での保育実習を今後も継続させていただく。
- ・吹奏楽部が東野小吹奏楽部と合同でクリスマスコンサートを開催した。
- ・吹奏楽部が富岡小吹奏楽部を週1回指導しており、ドリームウインドコンサートでは共演する予定である。

⑥地域との連携について

- ・社会人キャリア教育で講義を受け、将来の夢に掲げた生徒が複数名いる。
- ・浦安警察署と防犯ステーションの協力を得て、不審者対応訓練を行った。
- ・浦安D-Rocksによるラグビー教室は3年間続いており、今後も継続していく。

●委員より

○人材育成について

- ・チェックリストのアンケート結果で課題が明確になったので改善につながるだろう。
- ・チェックリストで「学習のまとめ」に課題があるのは、時間が足りないからだと思う。

(3) 令和8年度の富岡中学校の新しい取組と課題

●校長より（予定）

- ①情緒学級の開級
- ②教育課程について……週28時間の授業時数、8月31日までの夏季休業の延長
- ③観点別評価の細分化
- ④学校行事の時期や内容については検討を継続
- ⑤運動系部活動の地域移行について……市の構想

●委員より

○教育課程について

- ・授業時数の確保には工夫が必要である。
- ・過去には、給食が提供されない日に弁当持ちで授業を行ったことがあった。

(4) 令和8年度学校経営方針（案）について

- 職員間の情報共有を徹底していきたい。
- 持続可能な教育活動を実施していきたい。
- 気づいたり、考えたりしたら、行動するという力を身につけてもらいたい。

(5) その他（委員より）

- 授業を参観し、先生方が自信をもって授業をしていることが印象に残った。
- 研究指定や県・市の訪問がなくても、年に1度は研究授業を行う機会が必要である。
- 良い学校を、より良い学校にするのは大変な努力が必要です。何が必要か先生方一人一人が研修を深めて、日本一の教員を目指してほしい。
- 学年会議や教科部会など、先生方が話し合う場を大切にしてほしい。
- チャットや掲示板など話し合うツールを活用するとよい。
- 先生方同士が高め合える環境を作ることが校長・教頭・教務の役割である。
- 部活動壮行会で3年生が涙を流すという話に、思いやりや3年間の思いが感情に表れたなら校長先生が大事にしてきたことが生かされていると思った。そのようなこともどんどん発信してほしい。
- 富岡中と富岡小の間の小道のペイント「自転車安全確認」がはがれてしまった。市役所に話をしたが、生徒会から依頼したらよいだろう。
- 校門の工事が早く行われるとよい。
- 4月からの自転車の青切符について、中学生にも周知した方がよい。
→（学校から）来年度、講師を招いて自転車講習会を開催する予定がある。

5 その他

- （学校から）新年度の第1回協議会は4月下旬から5月上旬あたりに行きたい。